

## ヒアリングの質問項目

※ 内容については実績分析に限り、見込量の確保策については次回の見込量作成の際のヒアリングで聞く。

### 1 第2期見込数値と各実績の差違について（差違の大きな箇所を2・3箇所聞く）

- (1) サービス種別毎の利用者見込数（人）に対して実績はどうか。
- (2) サービス種別毎の利用量見込数（各単位）に対して実績はどうか。
- (3) 見込数と実績の差の要因をどう考えているか。  
→ニーズがないのか、ニーズはあるが実績に結びついていないのか。

### 2 平成20年度から平成22年度までの実績の比較について（顕著な差があれば聞く）

- (1) 利用者数が伸びている（又は減少している）要因をどう考えているか。
- (2) 利用量が伸びている（又は減少している）要因をどう考えているか。

### 3 その他の質問事項

- (1) 支給決定の基準等を設けているか。
- (2) 障害福祉サービスの申請を却下した人に対して、地域生活支援事業に繋げる体制になっているか。
- (3) 地域生活支援事業の必須事業で実施がなかった事業についての市町村の考え方。
- (4) 精神障害者の地域移行について、地域の受け入れの際に問題となる要因についてどう考えているか。（住まいの確保・GH等の整備・住民理解等）
- (5) 自立支援協議会等において出てきている事例について。
- (6) 地域移行、就労の現状についてどう考えているか。
- (7) 今後の作業にあたっての問題点・疑問点等。

### 4 県提供データ

- (1) 障害当事者団体ヒアリング（6月実施済み）で確認したニーズについて

### ※ 分析の視点について

可能な限り、実績データとその他のデータとの組み合わせ、現場担当者の意見等を基に複合的な分析を行ってほしい。

- ① 市町村における障害福祉サービスが必要な人に見合う提供体制が整備されていると考えているか。
- ② 市町村における支給決定者に見合うサービス提供体制が整備されていると考えているか。
- ③ 支給決定者数と利用者数の差はどう考えているか。（利用控えか、請求月のずれか。）
- ④ サービス利用者の平均的な利用回数は十分と考えているか。
- ⑤ また、平均利用数が少ない場合、要因はどう考えているか。
- ⑥ その他、市町村の特徴的な傾向に着目した分析結果について。